

# デジタル人材募集!

2022年度  
試験からを  
予定

- 総合職試験に「デジタル」区分を新設
- 一般職試験の「電気・電子・情報」区分を見直し

## 総合職試験：「デジタル」区分を新設

情報通信技術を活用するデジタル社会の実現に向けて、  
情報系の専門的な素養を持つ人材が必要です!

情報系の知識を持って、各府省の政策の企画立案に参画する人材を募集します!  
問題選択の柔軟性が高く、受験者の専門性に合わせて受験できます。

### 「デジタル」区分の試験科目

※ ○内の数字は出題予定数

多肢選択式 【63題中40題解答】		記述式 【6題中2題解答】
必須問題	基礎数学⑩ 情報基礎⑦ 情報と社会③	情報工学 (ハードウェア)② 情報工学 (ソフトウェア)②
選択必須問題 【17題中10題以上 解答】	計算機科学③ 情報工学(ハードウェア)⑤ 情報工学(ソフトウェア)⑤ 情報技術④	計算機科学① 情報技術①
選択問題 【選択必須+ 選択で20題解答】	線形代数・解析・確率・統計⑧ 数学モデル・オペレーションズ リサーチ・経営工学⑤ 電磁気学② 電気工学③ 電子工学③ 通信工学③ 制御工学②	

- 情報系の科目(赤字)を中心に出题します。
- 情報系の専門的な科目として、「**情報と社会**」(情報技術と社会に関する基礎的な分野)や「**情報技術**」(計算機科学、情報工学の技術が応用された分野(AI、システム工学、情報セキュリティ等))などを出题します。

※ 問題例は「国家公務員試験採用情報NAVI」に掲載予定です!

### 2022年度以降の「工学」区分についての留意点

- 「工学」区分では、これまで出題していた「**情報工学(ハードウェア)**」、「**情報工学(ソフトウェア)**」を多肢選択式、記述式ともに出題しないこととします。

※ 「数理科学・物理・地球科学」区分の試験科目には、これまでと変更ありません。

# 一般職試験：「電気・電子・情報」区分を 「デジタル・電気・電子」区分として見直し

専門試験（多肢選択式）に選択問題が追加されることにより、  
情報系を専攻の方、電気・電子系を専攻の方、  
どちらも自身の専攻分野で受験しやすくなります！

## 見直しの内容（専門試験（多肢選択式））

※ ○内の数字は出題予定数

### 【現行】

<b>必須問題</b> <b>【40題中40題必須解答】</b>
工学に関する基礎⑳
電磁気学・電気回路・電気計測・制御・電気機器・電力工学 ⑧
電子工学・電子回路③
通信工学・情報工学⑨

### 【見直し後】

<b>必須問題</b> <b>【36題中36題必須解答】</b>
工学に関する基礎⑳
電磁気学・電気回路・電気計測・制御・電気機器・電力工学 ⑧
情報・通信工学(理論)⑧
<b>選択問題</b> <b>【選択A又は選択Bのどちらかを選択して4題解答】</b>
<b>A</b> 情報工学(プログラミング) ④
<b>B</b> 電子工学・電子回路④

※ 問題例は「国家公務員試験採用情報NAVI」に掲載予定です！

情報系の選択A  
電気・電子系の選択B  
どちらか一方でOK

## 国家公務員試験採用情報NAVI

試験の全体像や採用に関する最新の情報はこちらをご覧ください。

<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>